

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」南松本校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・パーティションを活用しスペースの確保に努めている。	・支援児の入れ替わる時間帯等人の出入りが多いときは、より周囲に注意をし、安全面に配慮ができるようにする。
	②	職員の配置数は適切である	6	0	・1対1での個別支援環境が整えられるよう、支援予定の共有徹底をしている。 ・特定の日に職員の公休日が重なりすぎないよう、適切な配置に努める。	・追加、振替支援のご要望にお応えできる日が増やせるよう、空き利用時間帯を増やせる職員配置を心がける。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	・周囲のことが気になってしまうお子様がいるときにはパーティションで区切る等、個々の特性に応じた環境編成の配慮をしている。	・2階に事業所があり、階段の勾配が急になっている。天候不良の際（雨・雪等）は、転倒の危険の無いよう廊下のふき取り作業等の実施を心がける。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・定期的な消毒や換気等、感染予防に努めている。 ・刺激の整理をし、集中できる環境の配慮をしている。	・引き続き感染予防の継続、個々の様子に合わせた室内環境設定をしていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	・定期的に利用児の姿を共有し支援の方向性の確認をしたり、行事ごとの評価・反省をしたりするなどPDCAサイクルを意識して業務をしている。	・引き続きPDCAサイクルを意識した業務をしていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・改善できることは、すぐ取り組めるように努めている。	・よりよい環境でお子様の支援ができるよう、改善できることはすぐに行動する。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・集計等迅速に対応できるように努めている。	・今後も迅速に対応をし、スムーズに公表ができるように対応する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	・行政からの実地指導等を受け、適切な業務改善に努めている。	・全職員で確認し、改善内容を意識した業務ができるようにする。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・定期的に社内研修を実施している。	・職員の資質向上の為、今後も研修機会の確保に努める。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・保護者様にお時間をいただき、ご様子や支援内容・ご要望等お話を伺うようになっている。 ・個別支援計画検討会議を開催し、お子様一人一人に合った計画を作成、共有している。	・今後もご利用するお子様、ご家族様の現状に合った支援計画作成ができるよう努める。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・会社内統一書式にてアセスメントを実施している。	・定期的なアセスメントを継続していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・必要に応じて児童発達支援ガイドラインの再確認をし、適切な計画作成ができるよう努めている。	・今後もご利用するお子様、ご家族様の現状に合った支援計画作成ができるよう努める。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・毎週職員会議を開催し、利用児童の支援状況確認、方向性の共有をしている。 ・更新の都度、書類の全体共有、個別支援計画検討会議の開催をしている。	・利用するお子様の日常生活・学校生活・将来に繋がる力が養えるよう、今後もサポートしていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・活動プログラムの立案や変更等、毎週職員間で確認している。	・個々の状況、特性、保護者様のご要望等に合わせた今後も活動プログラムの立案をしていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・学習支援については内容の継続が必要と感じる。SST や日常生活動作に関する支援については、幅広く支援内容の選択肢をもってできるよう工夫している。	・「反復する必要がある内容」「幅を広げながら支援する必要がある内容」のメリハリを職員間で共有していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・お子様の状況、通う学校の状況に合わせて小集団活動を設定するなどしている。	・お子様の学年(来年度進学等)、特性等状況により合わせた定期的な小集団活動を行っていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼時、そして予定変更があった時点で全体共有できるようにしている。	・日によって受け入れできる1時間当たりの支援数が変わる為、より情報の共有ができるようメモ、社内ツール等を有効活用していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・重要なことはメモをし、自分だけの情報とならないよう他職員へ共有ができるよう心がけている。	・支援が続いてしまい閉所時間となってしまうときには、翌日に全体共有ができるようにする。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・支援後には必ず支援記録を記入し、次回担当職員へ内容の引き継ぎができるよう工夫している。	・お子様の優先度の高い課題については確実に記載、次回担当者への引き継ぎだけでなく全体共有ができるよう改善していく。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・保護者様に時間をいただき、まずはお子様の現状の姿を確認し、見直しの必要性を会議にて検討している。	・月によっては最大20名近くを検討するため、余裕をもって見直しができるよう予定を改善する。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	・会議の時間帯によっては参加できる職員が限られてしまうため、会議出席前に職員間で事業所としての報告内容の確認時間を確保できるようにしている。	・管理者がサポートをしながら会議出席を何度も経験し、どの職員でも出席ができるように改善する。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	・定期的な自治体独自の会議への参加や、訪問活動による情報交換、連携を図っている。	・連携する関係機関の幅を広げて情報交換ができるよう改善する。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		・該当無し。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		・該当無し
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・支援者会議が都合により開催できない時には書面やzoomでの情報共有、または相談員を通して情報連携を図れるよう工夫している。	・引き続き情報の共有、連携ができるよう共有方法の模索を図る。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・支援者会議が都合により開催できない時には書面やzoomでの情報共有、または相談員を通して情報連携を図れるよう工夫している。	・引き続き情報の共有、連携ができるよう共有方法の模索を図る。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・定期的な会議への参加、または要請があったときは可能な限り出席をしている。	・各関係機関への定期的な訪問、定期的な研修への参加をしていく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・プライバシーの観点により、交流や活動をする機会はないが、支援のフィードバック中に他の利用児のお子様、ご兄弟の方と交流ができるよう工夫している。	・本事業所含め近隣のきらりと情報共有・確認・検討をし、改善できるよう努める。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	関係機関の方が集まる会議出席もしくは周知活動・訪問をし、情報交換ができるよう努めている。	2022年度より松本市に「子ども部会」が発足。今後定期的に会議への参加をする。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・支援後の保護者様とのフィードバック対応中に、なるべく情報をお聞きできるように努めている。	・基本的には支援の都度、ご様子を伺っているが、引き続き保護者様のご要望によっては別時間帯にも対応ができるよう努める。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・コロナ渦に置いてなかなか開催が出来ていないが、個別でご相談いただく際には相談支援を含め、家族支援ができるよう努めている。	・コロナ渦に置いてなかなか開催ができていないため、感染予防に努めながらできるかぎり定期的な開催ができるよう改善する。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時にご説明をしている。 また、変更があるときにはその都度ご説明ができるよう努めている。	・引き続き丁寧にご説明を心がけ、何か不明点があったときには気軽にご相談いただけるようお声をかける。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・ガイドライン該当項目を基本に、個別支援計画作成に努めている。	・今後もお子様一人一人に合わせた個別支援計画作成ができるよう、情報把握・検討会議徹底に努める。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・支援時間帯、または支援とは別時間帯にお越しいただき、困りごとをお聞きできるよう工夫している。	・今後も電話又は直接来所いただく際にお悩みを伺いながらお気持ちに沿えるよう、さらなる改善に努める。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		・コロナ禍に置いて開催が出来ていないが、感染予防を徹底しながら保護者同士の交流、連携が図れるよう改善していく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・その都度お困りごとや様子について何か気づくことがあれば、職員間で連携しお声をかけている。	・その日の職員体制によっては十分にお話が伺えないこともあるため、別時間帯でのご提案や職員のシフト勤務体制の見直しをし、改善を図る。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・おたよりや LINE、ブログ、インスタグラム等にて必要な情報が発信できるよう工夫をしている。	・小集団活動のご案内等では、保護者様の予定をお聞きしながら、なるべく多くのお子様にご参加いただけるよう、より余裕をもった期日でご連絡ができるよう改善を図る。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・書類については鍵付き書庫での保管、その他利用情報については職員間で取り扱いに十分注意をしている。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意をし、業務ができるよう継続をしていく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・相談やお悩み等をお話ししやすい雰囲気作りを心がけている。	・状況によってはお子様と保護者様の仲立ちとなって良い方向へ調整できるよう改善をする。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	4	2		・プライベートの観点から利用するお子様参加での実施がなかなか難しいが、内覧会や事業所の雰囲気を感じていただける機会をもつ等、改善を図る。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・毎月1回定期的実施している。	・お子様参加での実施機会が少ないため、実際に避難をする等の訓練回数を増やせるように改善する。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	・毎月定期的に避難訓練を実施し、非常時に備えている。	・シフトにより出勤職員が日々変わるので、どの職員もどの役割ができるよう今後も継続・改善を図っていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・持病、アレルギー等あるお子様は面談時に確認をし、職員間で周知をしている。	・一覧表を利用児が増えるごと更新し、職員がいつでも確認できるようにする。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		・食事提供はしていないため飲食物が持ち込まれる・飲食することについては基本的には該当しないと考えるが、ご兄弟様など来所時に持ち込まれるケースが可能性としては考えられるので、引き続き職員間で連携を図る。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	・定期的にお子様の支援中の様子を確認しながら、安全面についてヒヤリハット事例への対応を確認している。	・現場でのヒヤリハットへの配慮はその都度しているが、作成している事例自体は少ないため、今後記録として増やしていけるよう改善する。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・虐待防止研修、伝達研修に参加をし、適切に対応ができるよう努めている。	・虐待防止に努め、今後も適切な運営ができるよう努めていく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		・身体拘束が必要な場合にはその都度職員間で話し合い、保護者様へのご説明をして慎重に対応する。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」南松本校

保護者等数（児童数）：7名(7名) 回収数：7 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	0	0	0	・一人で支援室をのびのびと利用することができ、大変ありがたい。	・ご回答いただき、ありがとうございます。今後もご希望に応じて支援環境を柔軟に変え、支援ができるよう努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	1	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0	・いつも部屋を暖めていただきありがたい。	・ご回答いただき、ありがとうございます。室温や換気、消毒等安心して利用いただけるよう今後も努めていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	0	・絵の具を使った支援や、お家ではなかなかできないことを支援していただき、楽しんでいく様子。	・ご回答いただき、ありがとうございます。支援内容が固定化しないよう、お子様がさまざまな経験を積み重ねていただけるように、今後も対応してまいります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	0	2		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	2	0	0		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0	0	・毎回支援の様子を教えていただき助かる。楽しんで利用できていることがありがたい。	・ご回答いただき、ありがとうございます。あそびを通じて、楽しみながらお子様の力を養っていきけるよう今後も努めたいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	6	0	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	0	0	・電話で突然相談をしてしまうが、対応していただけてありがたい。	・ご回答いただき、ありがとうございます。何かお困りのことがございましたら、いつでもご相談ください。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	1	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	0	4	0	3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	4		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7	0	0	0	・いつも「きらりて遊びたい」と楽しみにしています。	・ご回答いただき、ありがとうございます。今後も楽しみながら力をのばしていきけるような支援の工夫に努めたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。